

5. 同志社女子大学

| | | |
|-------|---|----------|
| テーマ | 学部横断型アプローチによる新たな知の創出：学内助成研究(三期・2017-2025)を通じた教育デザインに関する総合的考察 | |
| 発表代表者 | 成橋 和正：同志社女子大学 薬学部 医療薬学科 教授 | |
| 連名発表者 | 今井 由美子：同志社女子大学 表象文化学部 英語英文学科 教授 ROGERS, Lisa：同志社女子大学 現代社会学部 社会システム学科 教授 佐伯 林規江：同志社女子大学 学芸学部 国際教養学科 教授 橋本 秀実：同志社女子大学 看護部看護学科 准教授 倉橋 優子：同志社女子大学 生活科学部 食物栄養科学科 准教授 若本 夏美：同志社女子大学 表象文化学部 特別任用教授 高橋 玲：同志社女子大学 名誉教授 飯田 毅：同志社女子大学 学芸学部 国際教養学科 特別任用教授 | |
| キーワード | 学部横断型アプローチ | 教育デザイン |
| | 学部間教員連携 | 研究プロジェクト |
| 発表の概要 | 同志社女子大学は他学部教員間の交流が活発で学部横断型研究を推進する助成制度もある。「本学の教育理念及び Vision 150 を活かした共通英語教育開発のための基礎研究」(2017～2019 年度)では、教育理念に相応しい共通英語教材の開発を目指し、英語力・学習方略・学習動機の調査と分析を行った。「Vision 150 を活かす遠隔授業と対面授業についての総合的研究：高度で質の高い授業の探求」(2021～2023 年度)では、6 学部の学生を対象に遠隔授業と対面授業に関する量的・質的調査を行い、分析結果に基づき各学科の理想的な授業形態を検討した。「女子大学におけるウェルネスとエンパワーメントに関する研究」(2025 年度)では、学生のストレスと要因を質的・量的に把握し、ウェルネスの実態解明と支援の方向性を検討している。本発表では、これら学部横断型アプローチによる教育デザイン研究を総括し今後の展望を考察する。 | |